

◎多世代交流の仕組みづくり事業

10月7日（月）に、実谷区民館で地域住民、三育学院大学と一緒に、多世代交流の仕組みづくり事業「第7回 寄茶場 in 実谷&七本」を実施しました。

今回は、三育学院大学の保健師実習も兼ねて学生が「家の中の整理整頓と簡単な運動で転倒を防ぐ」をテーマに講話を実施しました。

総勢19名が参加し、皆で転倒を防ぐための環境づくりを学びました。

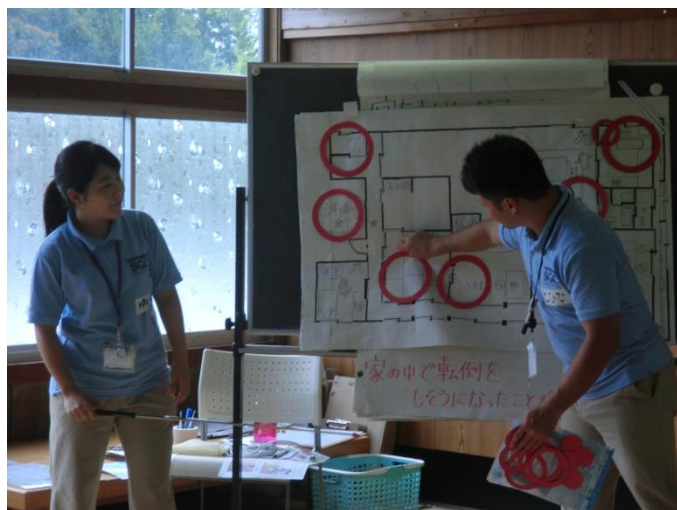


▲家の中で転倒しそうな場所を真剣に考えています

今回は三育学院大学の学生が家の中の整理整頓やちょっとした工夫による転倒予防を中心に話をしました。

家の中で電気コードやマットにつまづき転びそうになった経験をした方も多く、学生からの「転ばないためのポイント」を真剣に聞いていました。住民の感想の中にも「家に帰って整理整頓します」や「自分の生活を見直したい」など早速実践する意見が多くありました。

講話の後は、学生と住民が一緒にお茶を飲みながら談笑し、楽しい一時を過ごすことができました。



▲学生が家の中で転倒しそうな場所を説明する姿

今回、三育学院大学の学生が中心となり企画からチラシ作り、住民への声掛けを実施しました。学生が地域住民へ熱心に声掛けを実施したおかげで寄茶場に初めて参加する方もいて、寄茶場を知るきっかけになりました。

今後は、寄茶場 in 実谷&七本を開始して1年が経つため、寄茶場の方向性を住民と話し合っていきたいと思えます。



▲学生と住民がお茶を飲みながら談笑しています